

第3回 学校運営協議会議事録

令和8年10月8日(木)

1. 校長挨拶

- ・ 後期から来年度に向け「対話でつなぐ自走する組織」をめざし、協議会参加者のアイデアや意見を学校経営計画の肉付けに活かす姿勢を強調。
- ・ 第4回(次回)は1年間の学校評価と来年度の学校経営計画の提案を予定。

2. 前期学校評価・令和8年度の方向性について

学校評価: 大部分は「おおむね達成」だが、「達成できた」と言い切れる状態を目指し改善を進める。

- ・ **安全・安心 / 危機管理**
 - ヒヤリハット情報の迅速な共有と対策の形骸化防止(報告書の有効活用)。
 - 校舎内(3、4階、児童生徒玄関等)の暑さ対策の検討。
 - 防災・危機管理マニュアルの見直し。
- ・ **専門性:** タブレット・アプリ活用の見直しや児童生徒に合わせた教材環境の整備。
- ・ **連携:** 小中高のつながりの意識化。地域との連携。
- ・ **チーム学校:** 教員個人が抱え込まず、コーディネーターを中心に組織で対応する体制。定時退勤の徹底、推進。

目指す組織像(3つの姿):

1. **課題をシェアする:** 気軽にSOSを出せる風土づくり。
2. **仲間と解決する:** 学部や分掌を超えた協力。
3. **互いを認め合う:** 「ありがとう」「いいね」を言葉にして伝え合う文化の定着。

3. グループワーク(地域とのつながり、持続可能な活動について)

- ・ 単発ではなく「得意なこと・できること」を持ち寄り、無理のない範囲で継続できる活動について協議。
- ・ こどもたちが卒業後に多くの大人と関わることを見据え、在学中から対人関係や地域交流の機会を作ることの重要性を共有。

4. 共有・まとめ(グループワーク発表より)

- ・ **消防署・防災連携の具体案:**
 - 消防車・はしご車を活用した模擬避難訓練(4階からの救出訓練等)の実施検討。
 - 学校側から消防署に出向き、敷地の手入れ(つつじの整備等)を行うなど相互的な関わり。
 - ボッチャ体験、綱引き大会等の交流イベントや、体育祭種目などへ消防関係者の参加依頼。

● 地域・地域交流の具体案:

- 従来の野菜作りに加え、イチゴや果樹栽培など持続可能な活動の検討。
- 地域のお祭りやスポーツイベント等への無理のない形での参加・協力(継続性を重視)。

①グループ

地域との共生を目指して
持続可能な活動

清掃活動でコラボ
できないか?

ツツジの手入れ
⇒機械のみ
消防車・救急車⇒毎日手入れ

管内の中学生向けインターンシップは実績あり。(1回当たり2日間)

危険ではない。放水ロープ体験
消防士を志す。きっかけにもつながる事もある。

消防団企画
消防フェスタ(祭り)に参加 = はしご車
企画を増やしながら交流を。
訓練塔の見学もあり)

子ども向けの講演会(体験談)
もあり)

模擬訓練の披露

②グループ

野菜作り ← ① トマト農家見学
毎年5月(JAの集り)
収穫体験
持続可能

いちごの苗植え
(長岡小の様に)
※ トマトに「限らず」体験も
トマトとトマトを育てる人
→ 決まったハウス紹介
・ 稲刈り、苗植え

地域との
つながり
開校6年目

まったり ② なんで
直接参加は難しいが
(花作り なら参加
灯籠の絵 できる!!)
← 家庭(居住地)に
通ず。

スポーシ ③ 地域への
参加が
・ ニュースポーツ
・ ボッチャ
・ つなひき (vs 警察OB)
署長

寺家 老人会、こども会 解散している
平日はなかなか時間が...
土日
放課後等デイサービスへ
小中の様に 校内に学習クラブはない...

公民館
ポスター掲示
チラシ等も
回収OK。
(10/20頃までなら
11月、12月中)

案内文

③グループ

地域と学校のつながり

・ 体育祭... 企業の方へつなひき
・ SDGs... 企業への取組が
学校で話せる

企業紹介(実践あり)
→ 特支でやるとしたら...
→ 生徒にとって(13歳)大人
企業を知る

・ 高就職率の高さから
→ 今、働いている人の関わりか
どいにある? 働いている方との
接点(機会)を多くしたい方がよい

企業側からすると
・ 障害のある生徒の支援の方法が分からない。
障害の程度や個性、特性に
応じた対応。精神障害や身体障害と様々。

特例子会社の方を呼んで見学会
事例、採用など 話をしてもうとうと良い。
・ 実現が難しい。そこから輪を広げていく。

学校は 知。でも知らない。
子どもたち? 学校? 知。でも知らない。
保護者は インフラとつながり。WinWinな関係になると良い。

地域と「せ」
つながり方がない?

・ 子どもを知ってもらう
・ 地区にのびない
・ 存在を知ってもらう
・ 子どもが生きやすくなる
・ ヘルプを知りたい人も
・ 小さな世界にまどまっている
言葉は悪いが、外の世界を
知っている方がよい。

・ 企業
法定雇用率にはある
企業と学校がつながれると
企業にとって良い面がある

・ 先生生徒の
つながりがない。
支援(サポート)を
していない

・ 小企業、
床屋、歯医者、病院...
どこに行けるか 困る
・ 成長にもなる出でる悩み
なども どこに相談できる
良いか分からない。

5. 次回予定

- ・ 日時: 令和9年2月18日(木) 9:30~11:30
- ・ 内容: 年間の学校評価および来年度学校経営計画の提案・協議